

1次方程式 応用②

(1年H17)

「長いすに生徒がすわるのに、1脚に6人ずつ座っていったところ、15人が座れなかった。そこで、1脚に7人ずつすわっていくと、5人すわる長いすが1脚と、だれも座らない長いすが1脚できた。長いすの数と生徒の人数を求めなさい。」という問題について、ケンジ君とカナコさんは、それぞれ次のように問題を解こうとしている。

① ケンジ君の考え…長いすの数を x 脚とする。

② カナコさんの考え…生徒の人数を x 人とする。

それぞれの考え方で方程式をつくり、長いすの数と生徒の人数を求めよ。

① 長いすの数を x 脚とすると、

② 生徒の人数を x 人とすると、